

第1回 IODP 部会執行部 議事録(案)

日時:2006年4月9日(日) 12:00-13:30

場所:東京大学海洋研究所 会議室 113

出席者:

執行部:鈴木徳行(北海道大学)・阿波根直一(北海道大学)・荒井晃作(産業技術総合研究所)・石橋純一郎(九州大学)・海野 進(静岡大学)・佐藤時幸(秋田大学)・佐柳敬造(東海大学)・白井正明(東京大学)・山本啓之(JAMSTEC)・巽 好幸(JAMSTEC)・北里 洋(JAMSTEC)

JAMSTEC:鷺尾幸久・川村善久・笹山岳大

事務局:山田 泰・長橋 徹・増田由衣

欠席者:木戸ゆかり(JAMSTEC)・山田泰広(京都大学)

議事次第(案)

1. 平成 18 年度 J-DESC 会員総会について(部会長、事務局)
 - ・司会進行について
 - ・全体の議題確認(予算(案)、会則変更、J-DESC 法人化現状報告等)
 - ・IODP 部会としての議題(H17 年度報告・H18 年度活動計画等)検討
 - ・その他
2. 国際 SAS パネル(部会長補佐、事務局)
 - ・SPC 後任委員の選出方法・人選等
 - ・SASEC の新設
3. IODP 部会専門部会体制・専門部会長について(部会長補佐、事務局)
4. IODP 国内科学計画委員会関連(部会長)
 - ・委員会委員の人選
 - ・CDP 掘削プロポーザル作成支援公募要領ドラフト案について
5. 広報関連
 - ・IODP 成果報告会準備状況について(石橋)
6. 報告事項
 - ・Management Forum/IODP Day 報告(鈴木部会長)
 - ・New Jersey 航海時期の変更(2007 年夏)について(部会長補佐)
7. その他
 - ・海の地質基準について
 - ・次回、執行部部会開催日(事務局)

資料1 2006 年度会員総会資料

資料2 SASEC の新設

資料3 IODP 国内科学計画委員会の打ち合わせメモ

資料4 海の地質基準について

参考資料 SPPOC・SPC 委員公募要領について

議事内容

議事に先立ち、本年度より AESTO の科学掘削推進部科学計画室長に就任した山田氏より挨拶があった。

1. 平成 18 年度 J-DESC 会員総会について(部会長、事務局)

事務局より、平成 18 年度会員総会の配布資料について説明がなされた。

- ・事前に執行部各位に配布し、指摘された点について細かな字句の修正等を行なった。
- ・会員総会の議長候補として、東北大学の井龍様に内諾を頂いている。
- ・総会資料については、特に意見は出なかった。

2. 国際 SAS パネル(部会長補佐、事務局)

(1) SPC 後任委員の選出方法・人選等

- ・SPC 後任委員については公募を実施する。
- ・公募要領は、阿波根執行部補佐と事務局で検討、作成後、実施する。
- ・SPC 委員の専門のバランスを考慮する。

(2) SASEC (IODP SAS Executive Committee) の新設[資料2、参考資料]

鈴木部会長より、標題の件について説明がなされた

- ・SPPOC の後継組織として新たに設置される組織
- ・構成メンバー(投票権有)は、日/米/欧で3/3/2人の割合で、日米の各1名は BOG より選出。
- ・他の構成メンバー(投票権無)は、SPC 議長と IODP-MI 議長、オブザーバーとして中国と韓国の参加も可能
- ・5月中旬までに、日本側 SASEC 委員2名を選出する必要がある。
- ・従来の SPPOC 委員の選出は公募を実施していたが、今回は時間的余裕がないため委員を推薦する。
- ・委員の推薦は、現 SPPOC 委員と JAMSTEC/CDEX と協議する。
- ・SASECがSASの最上位に位置する事から、そのサポートは他のSASパネル同様にIODP-MI 札幌が主体となるべきで、J-DESCとしてその旨を確認すべきではないかという意見があった

3. IODP 部会専門部会体制・専門部会長について(部会長、事務局)

- ・特任執行委員として執行部に在籍していた巽氏の退任が承認された。
- ・後任として、北里氏(JAMSTEC)が執行部員として承認された。

4. IODP 国内科学計画委員会関連(部会長、事務局)[資料3]

事務局より、標題についての経緯・概要について説明がなされた。続いて、鈴木部会長より、具体的な経緯や内容について説明がなされた。

(1) 委員会委員の人選

- ・IODP 国内科学計画委員会の候補者(案)が、鈴木部会長より挙げられた。
- ・J-DESC/IODP 部会執行部からの候補者が少ないとの指摘があった。
- ・候補者としてあげられた科学計測、事前調査検討専門部会長の人選については、阿波根部会長補佐と荒井執行部員で確認・調整することになった。

(2) CDP 掘削プロポーザル作成支援公募要領ドラフト案について

- ・公募要領案は、AESTO(事務局)が中心に作成し、執行部で検討する。
- ・公募の審査等は、科学推進専門部会で担当する。
- ・CDP (Complex Drilling Program) に特化した支援であることが確認された。
- ・遅くとも、5月の連休明けまでには公募を始める必要がある。

5. 広報関連

・IODP 成果報告会準備状況について(石橋)

石橋執行部員より、標題の件について報告がなされ、開催案内(案)が追加資料として配付された。

- ・成果報告会の時間を決定した。総会で開催案内を配付する。
- ・発表者の人選、プログラム詳細は各航海の共同主任研究者に任せる。
- ・ドイツでは、このような報告会は乗船研究者の募集やプロポーザル作成に関する相談の場の役割をも果たしているとの報告があった。
- ・川村氏(JAMSTEC)より、6月初めに、NanTroSEIZE Phase1のプロスペクタスが公開になり、秋頃からサイエンスパーティーの募集が開始されるとの報告があった。

6. 報告事項

(1) Management Forum/IODP Day 報告(鈴木部会長)

鈴木部会長より、IODP Management Forum と IODP Day への参加報告がなされた。

IODP Management Forum

- ・J-DES C より国際パネル議長のチュートリアル作成を提案し、IODP-MI で検討することになった。
- ・国際 SAS パネルの IIS-PPG、long-term monitoring についての報告。
- ・ミッションアプローチ実現への紹介。
- ・Workshop の開催について、Top Down で行なって欲しいとの要望をだした。

IODP Day

- ・BOG メンバーへ、J-DESC、USSAC 等の紹介を行なった。

(2) New Jersey 航海時期の変更(2007 年夏)について(部会長補佐)

阿波根部会長補佐より、New Jersey 航海時期の延期の報告がなされた。

- ・ECORD 予算等の問題から、航海が 2006 年夏から 2007 年5月以降に変更された。
- ・現在、参加応募者の専門分野が堆積学に偏っていることから、ESO から特定分野について2次募集がある予定。

7. その他

(1) 海の地質基準について

鈴木部会長より、標題の件について説明がなされた[資料4]。

- ・日本地質学会(担当:安間氏)より、J-DESC と CDEX へ協力要請があった。
- ・IODP 部会執行部で担当者(人選)を行なう。
- ・高知大学・海洋コア総合研究センターで実施しているコア解析スクールのテキスト等を参考にする。

(2) 科学計測専門部会長の人選について

科学計測専門部会長の村山氏より、学内業務等の兼ね合いから部会長退任の意向が示され、後任の人

選について阿波根部会長補佐が村山部会長ほか関係者と調整を進めていくことが示された。

(3) 次回、執行部部会開催日(事務局)

5月19日(金)の午前中(9:00-10:30;IODP 成果報告会の前)に、東京大学海洋研究所での開催を第1候補として、事務局が日程調整する。

以上